



データあり
令和4年11月21日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 永田・内藤
電話 782-2114

マレーバクが来園します

マレーバクのメス1頭が群馬サファリパークからブリーディングローンで来園しますので、お知らせします。今回の来園で東山動植物園のマレーバクは2頭（オス1頭、メス1頭）になります。

記

1 来園するマレーバク

- (1) 名 前 コモレ
- (2) 性 別 メス
- (3) 年 齢 2歳（2020年10月16日 群馬サファリパーク生まれ）
- (4) 来園予定日 令和4年11月28日（月）

2 一般公開日

動物の体調等を考慮し、決まり次第東山動植物園公式ウェブサイトでお知らせします。

3 東山動植物園で飼育しているマレーバク

- (1) 名 前 ヒサ
- (2) 性 別 オス
- (3) 年 齢 16歳（2006年2月7日 東山動植物園生まれ）

4 取材について

動物搬入時を含め、公開日まで撮影はできませんのでご了承ください。
なお、写真等が必要な場合には東山総合公園管理課までご相談ください。

(参考)

■国内のマレーバク飼育頭数 (2021年12月末)

13園で34頭(オス19頭、メス15頭)飼育しています。

■ブリーディングローンについて

繁殖を目的とした動物の賃貸契約で、動物園間で個体を移動させることによって新たなペア形成を促し、繁殖に寄与することを目的としています。

■マレーバク (奇蹄目バク科) について

学名: *Tapirus indicus*

英名: Malayan Tapir

分布: スマトラ島南部と中央部、マレーシア半島、タイ、ミャンマー

形態: 頭胴長 235~250cm、体高 90~105cm、体重 260~400kg。バク科の中では最大。体色は黒と白のツートンカラーで、肩から腰、腹部にかけて白い体毛が生えている。耳の先端は白く縁どられている。指の数は前肢が4本、後肢が3本である。幼獣は茶色地に白い縞と斑点があるウリボウで、成長するに従い親と同様な毛色となる。

生態: 密林、やぶ地、水辺の草地に単独か親子で暮らし、基本的には夜間に活動する。一般的に低地で生活するが、標高2700mを超える地域で発見されることもある。1産1仔で、妊娠期間は390日~400日。ワシントン条約附属書I表、IUCNレッドリスト: EN (絶滅危惧IB類)。



来園するマレーバク (コモレ) 写真提供: 群馬サファリパーク